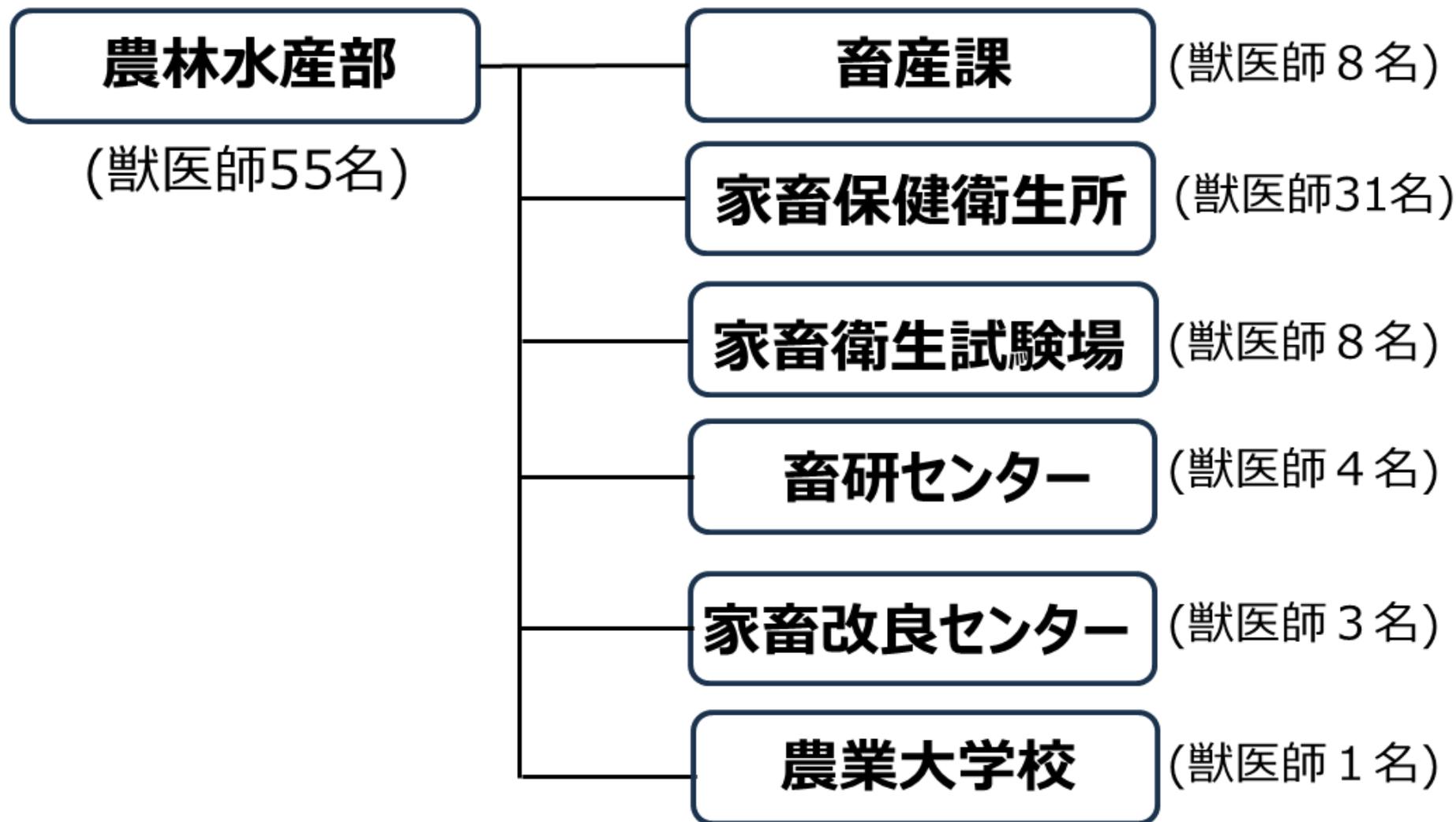


農林水産部局の 獣医師の業務

農林水産部 畜産課

獣医師職(農林水産部)の業務概要

農林水産部組織図



農林水産部部の勤務先

7

農林水産部が所管する関係機関

県外出身者も多数在籍しています！



畜産研究センター
(今帰仁村)
生産・改良などの畜産業
に関する試験研究業務



畜産環境保全の指導

中央家畜保健衛生所
(南城市)
本島中南部地域の
家畜保健衛生指導業務

農林水産部畜産課
(那覇市)
畜産行政の中心
関連事業の企画立案

家畜衛生試験場
(うるま市)
家畜衛生関連の
試験研究や検査業務



精密検査

家畜改良センター
(国頭村)
種豚の系統造成
乳用牛の育成・供給



畜産共進会の審査

北部家畜保健衛生所
(名護市)
本島北部地域の
家畜保健衛生指導業務



衛生検査のための採血

宮古家畜保健衛生所
(宮古島市)
宮古・多良間地域の
家畜保健衛生指導業務

八重山家畜保健衛生所
(石垣市)
八重山・与那国地域の
家畜保健衛生指導業務

※詳細については沖縄県のホームページをご覧ください

家畜保健衛生所・家畜衛生試験場

<家保（4カ所）>

- ・沖縄本島（南部・北部）
- ・宮古島
- ・石垣島

<家畜衛生試験場>

- ・本島中部

<業務>

- ・家畜（牛、豚、鶏、山羊等）の疾病検査
- ・飼養衛生管理指導
- ・口蹄疫等の特定家畜伝染病への対応
- ・牛異常産、豚熱等のワクチン接種
- ・農水省動物検疫所など他機関との連携など



病気の発生に備えた演習



豚や牛の検査

動物検疫所と一緒に仕事



畜産研究センター・畜産改良センター

<畜産研究センター>

- ・種雄牛の造成
- ・県種雄牛の凍結精液の配付
- ・未利用資源の飼料への活用
- ・豚、山羊の研究



沖縄県で造成された種雄牛。凍結精液の作成も行っていきます。

<家畜改良センター>

- ・優良種豚の生産、配付
- ・種豚の改良、飼養管理
- ・アグー豚の維持・増殖



優良種豚
オキナワアイランド

家畜改良センターの業務（種豚改良部門）

おきなわブランド豚増頭体制確立事業

おきなわブランド豚

ランドレース:系統造成豚
「オキナワアイランド」



x → L

県外優良ランドレース



次世代ランドレース

x →



大ヨークシャー



次世代繁殖母豚

おきなわブランド豚
(LWD)



x

D



デュロック



とんかつ



てびち

アグーブランド豚

A



アグー:肉質がよい
霜降り肉で融点が低い

x



アグーブランド豚



しゃぶしゃぶ

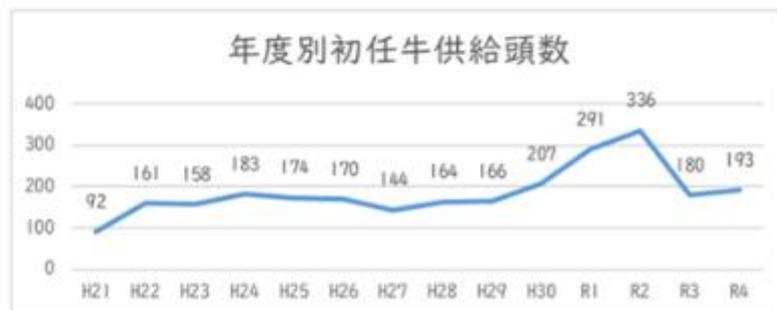
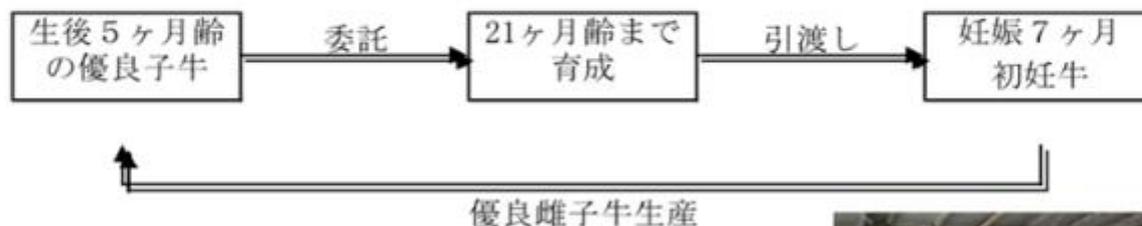
家畜改良センターの業務（乳用牛部門）

平成29年度より乳用牛の育成・管理については沖縄県酪農農業協同組合へ委託

1 事業目的

県内の酪農家で生産された生後5カ月齢前後の雌子牛のなかから選定基準に適合したものを、委託牛として酪農家から預かり、大規模草地で生産された自給飼料等を利用して育成し、経済性の高い初妊牛として農家に供給する。

2 委託牛のフロー図



畜産研究センターの業務（育種改良班）



美百合

黒毛6279 審査得点: 83.7点

ゲノムモニター「美百合」

美百合「百合白清2」を父に持つ沖縄系黒毛種で、肉体面に秀でています。本邦の黒毛交配ゲノム有蹄畜がこれまでに見られなかった沖縄黒毛種牛106種中1位の野性を継承した、筋肉量高、ロース断面幅が広げ、1/3の厚みのゲノム有蹄畜についても飛び抜けた数値を示すなど、高品質が期待されるゲノムモニターです。

産地: 今帰仁村 産期: 我野産 産年: 平成30年8月28日

今和の牛産 黒毛和種



OKINAWA KUROGE WASYU

①本邦で唯一の黒毛和種
②「肉でいって」肉質が優れている
③肉質が優れている
④肉質が優れている

×黒毛雌(10,87of, 498kg) ♀
×黒毛雄(12,109of, 574kg) ♂
×黒毛雌(9,75of, 489kg) ♀

運動体質成績

1日歩数(歩)	1.46
---------	------

成績判定結果

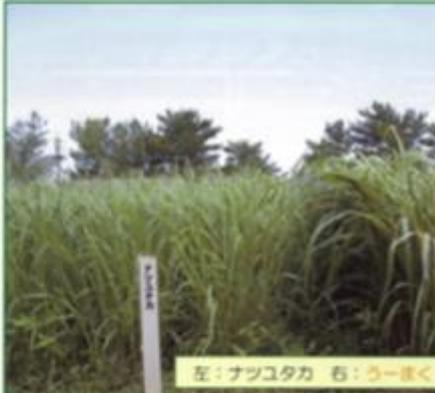
判定	判定
筋肉量	判定中
歩数	判定中

百合茂	平沢勝	第20平産
みどり	白黒563	肉質良
美田桜	第1花田	北産7の8
ちゅらら	第2とよこ	第5花産

沖縄県基幹種雄牛の造成・凍結精液の製造

品種登録出願中(2009年2月出願公表:第23220号)

ギニアグラス「うーまく」



左: ナツユタカ 右: うーまく

Okinawa Green Grass

ギニアグラス新品種の紹介

新品種「ハイカサ」「うーまく」は、従来品種にくらべ、収量・栄養価が高く、柔軟性も優れ、沖縄の気候風土に適しています。



ハイカサ
収量・柔軟性に優れる



うーまく
肉質に優れ、肉付きが良い

特性

多収品種「ナツユタカ」の1.3倍程度の収量に優れ、「ガットン」並みの粗タンパク質・再生性、耐倒伏にも優れている。

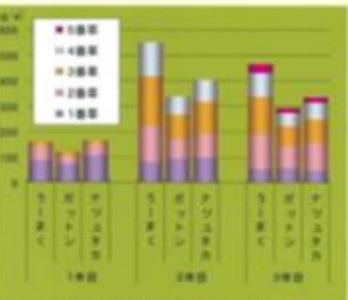


図2 乾物収量(2005~2007年)

品種名	乾物消化率 (%)	粗タンパク質含有量 (DM%)
うーまく (新品種)	58.4	7.2
ガットン (普及品種)	54.8	8.2
ナツユタカ (多収品種)	56.3	6.3

*乾物消化率は利用3年目の1~5番草までの平均。
*粗タンパク質含有量は利用3年目の2番草(7月)。

「うーまく」は農林水産省が実施する指定試験事業(委託事業)により育成され、農林登録すべき品種として認められ、命名された品種であり、沖縄県で選抜育成された沖縄の気候風土に適した新品種です。

暖地型牧草の遺伝資源評価・種子採取

畜産研究センターの業務（飼料・環境班）

殺菌水の煙霧散布を利用した畜産環境コントロールシステムによる豚生産向上

研究内容 煙霧散布と次亜塩素酸系殺菌水を併用した、消毒効果・冷却効果を持つ煙霧システムを構築し、豚舎に应用した。

煙霧散布

水を細かく霧状に散布することで、水が蒸発する際に熱を奪う気化冷却効果をもたらす。加湿などの効果も併用して利用されている。

豚舎内での応用



豚舎内で、消毒効果・冷却効果を併用する畜産環境コントロールシステム（煙霧システム）の構築

次亜塩素酸系殺菌水高い殺菌力を持ち食品添加剤としても安全性に懸念がない。飼料・食品工場等で利用されている。畜舎が導入しても安全であり、ホジティブリストの対策である。

煙霧システムの内容

煙霧システムは、殺菌水を製造する簡易殺菌水製造機と煙霧の自動散布を可能とする煙霧散布装置から成る。（煙霧システム = 簡易殺菌水製造機 + 煙霧散布装置）

実験結果

煙霧散布により、

- ・湿度が低下し湿度が上昇
- ・豚舎内の細菌数が減少（衛生対策効果）
- ・暑熱時でも安定的に増体（暑熱低減効果）
- ・簡易子豚育成装置で子豚損耗率が低下

煙霧システムは豚生産向上に有効であることが示唆された。

ニュージーランドから導入した山羊の精液配布

名号

キューピッド

品種：ヌビアン種

〔生年月日〕2018年7月20日

〔父〕アロハゴーツ・チェロノエル

〔母〕アロハゴーツ・チェリーレオナルド

体重 67.0 Kg

体長 85.4 cm

体高 83.5 cm

胸囲 96.0 cm



名号

WSB20

品種：ボア種

〔生年月日〕2018年8月27日

〔父〕7958MUFK1215

〔母〕WSB15B052

体重 71.5 Kg

体長 81.0 cm

体高 77.0 cm

胸囲 91.0 cm



山羊の飼養管理技術

1) 人工哺乳と去勢

〔人工哺乳〕

人工哺乳は自然哺乳と違い、手間と粉ミルクの費用がかかるが、飲んだミルクの量が把握でき、母山羊と別飼することにより粗飼料及び人工乳の給与が容易であるため、離乳への移行がスムーズである。子山羊を群飼し、牛用代用乳（TDN108%以上）を温湯で溶かして給与（給与時40℃）している。



写真1 保溫箱
不要になった水タンクを利用



写真2 人工哺乳
ボールにミルクを入れて集団哺乳

家畜保健衛生所の業務（防疫衛生業務）



予防接種



高病原性インフルエンザ検査



衛生検査のための採血



畜舎消毒



みつばち腐蛆病検査



防疫演習

家畜保健衛生所の業務（畜産振興業務）



牧草の収量調査



畜産共進会の審査



畜産経営の改善指導



畜産環境保全の指導

家畜衛生試験場の業務

部 門

ウイルス

細菌

病理

生化学

原虫・寄生虫

庶務

ウイルス



高病原性鳥インフルエンザウイルス
分離検査

細菌

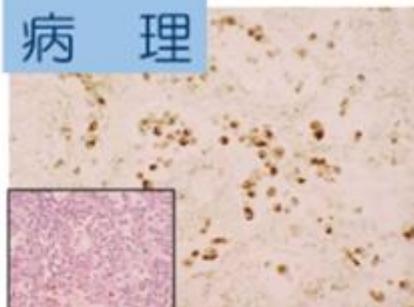


マイコプラズマに感染した肺（豚）



マイコプラズマのコロニー

病理



肺(豚)のPCV2抗原(×200、免疫染色)
枠内：同部位HE標本

生化学

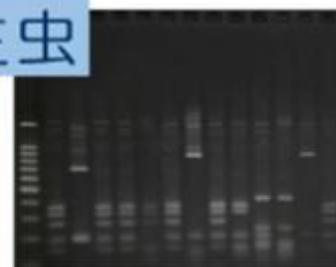


県内死亡牛のBSE検査
(ELISA法)

原虫・寄生虫



Theileria orientalis (赤矢印) と
Anaplasma centrale の混合感染



PCR-RFLP法によるDNA断片相
違の識別

畜産課の業務

主な業務

- ①事業の企画・立案、予算の確保
- ②調査・依頼物のとりまとめ・報告業務



業務担当班

- 飼料基盤班・・・家畜飼料、飼料基盤整備に関する業務等
- 家畜防疫対策班・・・家畜防疫・衛生に関する業務等
- 畜産政策班・・・家畜・畜産物の流通、畜産統計に関する業務等
- 生産環境基盤班・・・家畜の改良、環境基盤整備に関する業務等

ある日の八重山家畜保健衛生所の一日

家畜保健衛生所では、安全安心な畜産のために、獣医師が日々お仕事をしています！

8:00 出勤

8:30 お仕事開始！

9:00 船で西表島の農場に検査へ

離島へは船や飛行機で検査に行きます

水牛車で検査に行くことも！？



12:00～13:00 お昼休憩



ELISA検査



牛がいっぱい！

農場の裏はジャングル



14:00 家保に戻り検査

16:00 防疫演習の打ち合わせ

17:15 帰宅



防疫演習では、鳥インフルエンザや豚熱などの病気の発生に備え、実地訓練を行います。

勤務条件について

給与、赴任旅費について



- **初任給（基本給） 222,700円** ※令和6年11月時点
※ 大学卒業後すぐに免許取得し採用された場合の例です。
職歴等により加算される場合もあります。
- **初任給調整手当 採用1～5年目まで:月55,000円**
採用6年目は月50,000円、以降毎年5,000円ずつ減額
- **期末・勤勉手当 4.5月分/年** ※令和6年11月時点
- **その他諸手当**
通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当、特殊勤務手当など
- **赴任旅費**
採用や人事異動に伴い引っ越しした場合には、赴任旅費が支給されます。

宮古・石垣地域で勤務する場合（参考）

■ 諸手当

特地勤務手当

離島に勤務する職員に対し支払われる手当（給料の月額×12/100）

準特地手当

離島に引越して勤務する職員に対し支払われる手当（給料の月額×6/100）

単身赴任手当

沖縄本島から引越して勤務する職員が、やむを得ない事情により配偶者と別居し、単身で生活する場合に支払われる手当（54,000円）

■ 職員住宅の提供 or 住居手当

■ 赴任旅費（採用や人事異動に伴う引っ越し代の実費支給可）



勤務時間・休暇・福利厚生など

■ 勤務時間

週38時間45分（平日8:30～17:15）、週休2日制

B勤務	7:30～16:15
C勤務	8:00～16:45
A(通常)	8:30～17:15
D勤務	9:00～17:45
E勤務	9:30～18:15

勤務時間を選べる

時差出勤制度

もあります！

■ 各種休暇

年次休暇(年20日)、夏季休暇(5日)、病気休暇、慶弔休暇、子の看護休暇、産前・産後休暇、育児休暇、介護休暇など

■ 共済制度

病気・負傷時の療養費支給、結婚・出産等の際の給付や貸付等、職員や家族の福利厚生の増進を目的とした制度があります。

公衆衛生部局の 獣医師の業務

保健医療介護部 薬務生活衛生課

公衆衛生部局 組織図

保健医療介護部

薬務生活衛生課

(獣医師2名)

食肉衛生検査所

(中央・北部)

(獣医師42名)

保健所

(南部・中部・北部・宮古・八重山)

(獣医師15名)

衛生環境研究所

(獣医師3名)

感染症対策課

(獣医師3名)

環境部

自然保護課

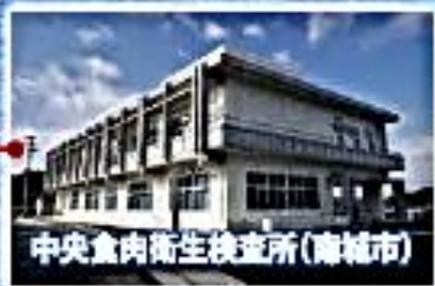
(獣医師1名)

動物愛護管理
センター

(獣医師7名)

公衆衛生部局の勤務先

- 本庁の環境・保健医療部門 (那覇市)
- 食肉衛生検査所 (南城市、名護市)
- 保健所 (南風原町、沖縄市、名護市、石垣市、宮古島市)
- 動物愛護管理センター (南城市)
- 衛生環境研究所 (うるま市)



食肉衛生検査所の業務 (県内のと畜場・大規模食鳥処理場)

- と畜検査
- 食鳥検査
- 食肉処理業の監視 等

●一般と畜場

(6カ所)

南城市、名護市、
宮古島、石垣島、
久米島、与那国島

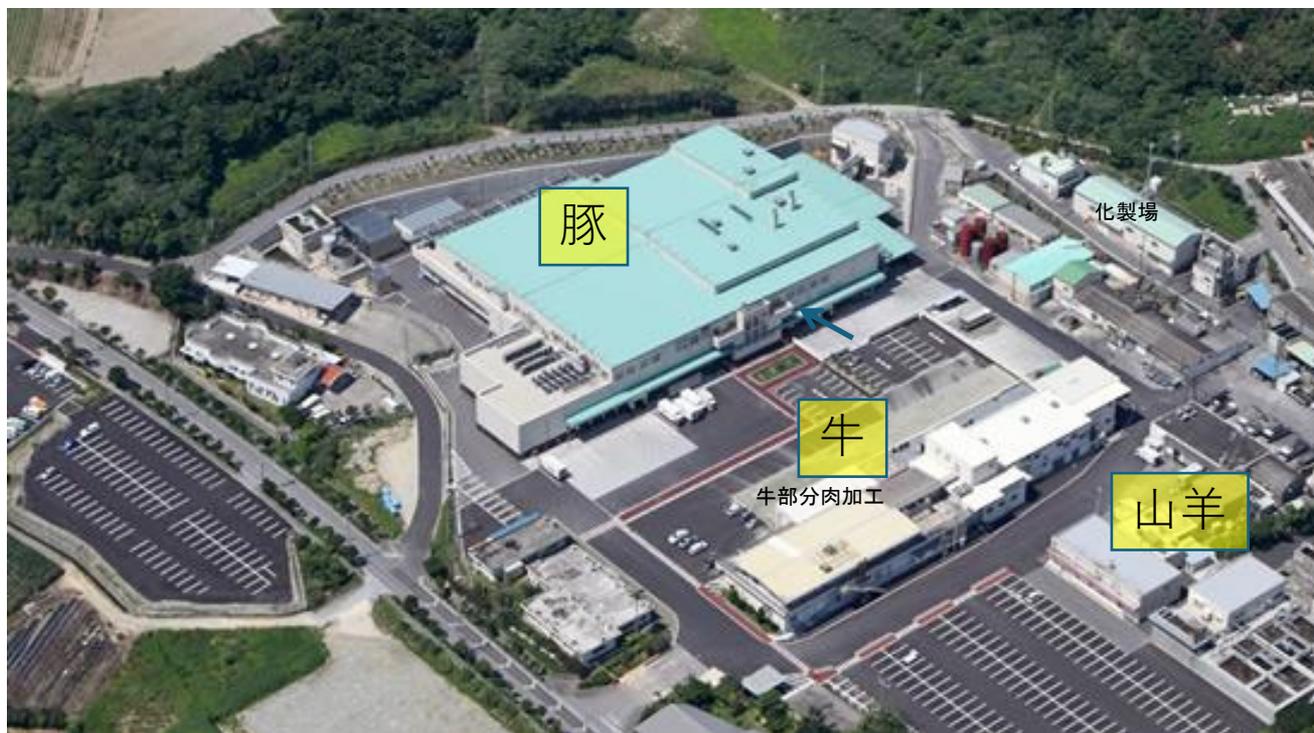
▲大規模食鳥処理場

(2カ所)

名護市(ブロイラー)、
うるま市(成鶏)

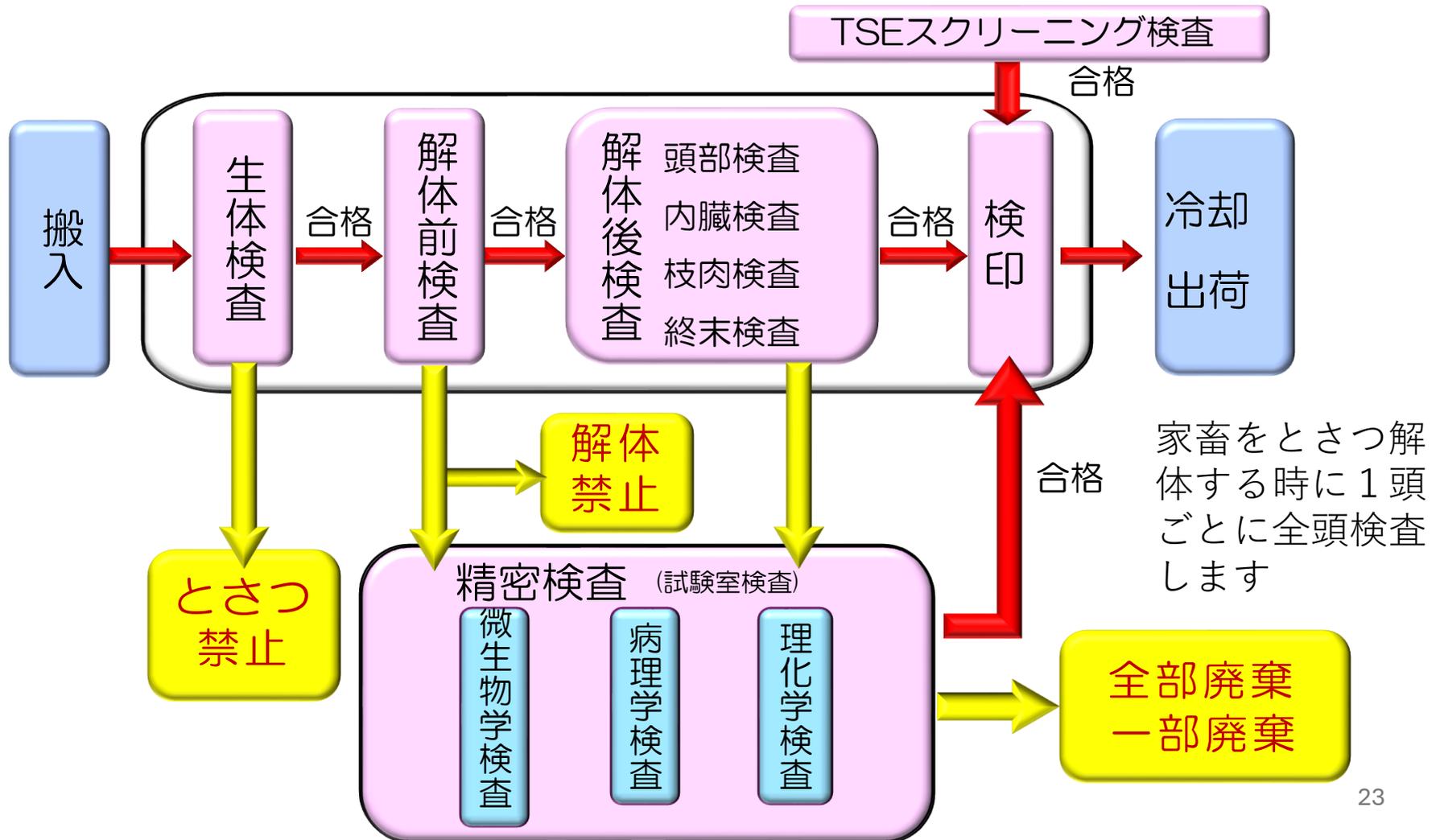


- ・ 沖縄県のと畜検査頭数(R5)は、牛4,300頭、豚297,483頭、山羊3,306頭、馬19頭。
- ・ 沖縄県では全国的にもめずらしく、豚を皮つきのままと畜します。
沖縄そばの具としてよく見るラフテー（三枚肉）などになります。
- ・ 全国でと畜される山羊の約8割が沖縄でと畜されます。
沖縄県ではよくヒージャー汁（山羊のおつゆ）として食べられます。



県内最大のと畜場（株式会社 沖縄県食肉センター）
と畜処理能力：豚1,200頭／日 ・ 牛30頭／日 ・ 山羊10頭／日

食肉衛生検査所の業務 (と畜検査)



(と畜検査)

生体検査



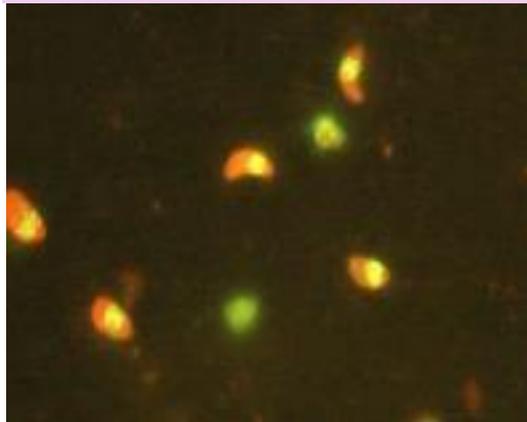
解体後（内臓）検査



解体後（枝肉）検査



トキソプラズマのタキゾイト



皮膚に見られた豚丹毒の菱形疹



皮の一部を切り取って微生物検査を実施し、とさつが衛生的に行われたか検証します



(食鳥検査)

- ・ 沖縄県の食鳥検査羽数は、成鶏 495,268羽（全国 78,908,628羽）²⁵
ブロイラー 3,883,160羽（全国 754,779,694羽）です。
- ・ 大規模食鳥処理場は、本島内に2ヵ所（うるま市・名護市）あります。
- ・ 食鳥検査の他、食鳥処理場のHACCPによる衛生管理の衛生指導や衛生教育を行っています。

生体検査



脱羽後検査



食鳥処理場内の衛生状況の監視



(精密検査)

と畜検査や食鳥検査では、視覚、嗅覚、触覚などを駆使して診断を行いますが、その上でさらに詳細な検査を実施する必要がある場合に精密検査（保留検査）を実施し、その結果から食肉の適不適を判断します。中央食肉衛生検査所では精密検査専門の班が設置され、『微生物室』『病理室』『理化学室』が業務を行っています。

微生物室



病理室



理化学室



保健所の業務

食品関連業務（食品衛生監視員）

- 食品施設の営業許可
- 食中毒調査
- 食品収去検査
- 食品施設の監視指導
- 輸出食品の衛生証明書の発行
- 普及啓発（講習会等）



窓口業務

離島保健所

- と畜場法関連業務
- 狂犬病予防業務
- 動物愛護管理業務
- 食品関連業務
- 食鳥処理法関連業務
- 化製場法関連業務



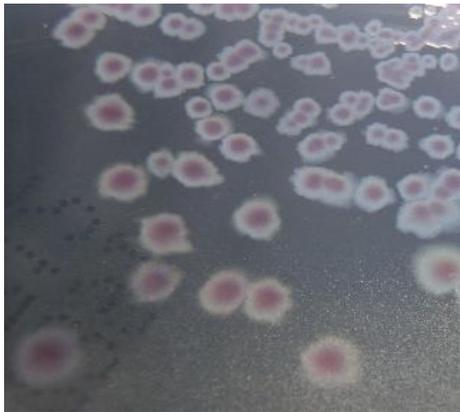
収去検査

衛生環境研究所の業務

(試験検査、調査研究)

●食中毒の原因微生物検査

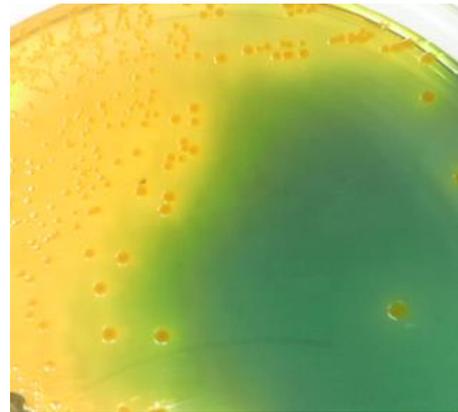
腸管出血性大腸菌



チフス菌



コレラ菌



●感染症の病原体検査

新型コロナウイルスの
ゲノム解析



●沖縄県におけるバンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) の分子疫学解析 (令和4年度～)

●沖縄県における麻疹及び風疹疑い症例を対象としたウイルス性発疹症を生じる病原体の探索 (令和4年度～)

沖縄県において特に重要な感染症について研究を行い、感染症対策に活かしています。
獣医師は、特に人獣共通感染症に対する知識を活かして研究を行い、学会発表や海外雑誌への論文投稿などを通して、自身のスキルアップを目指すこともできます。

(感染症に関する情報の収集・整理・活用)

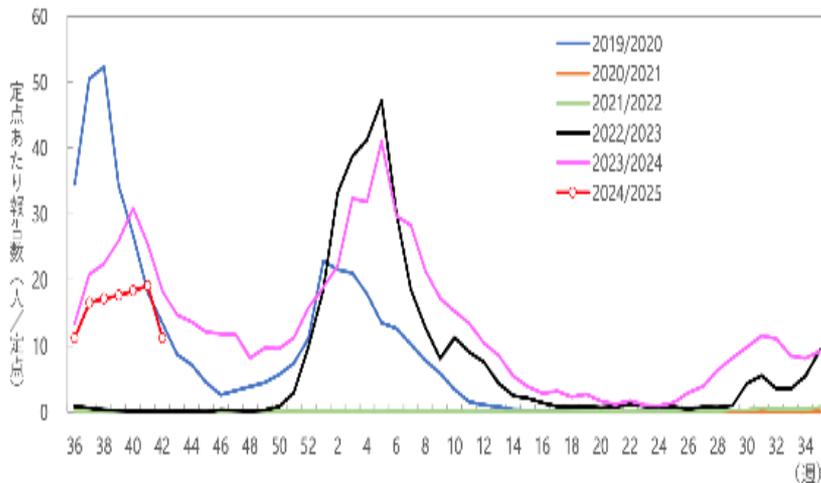
●感染症発生動向調査

「沖縄県感染症情報センター」として、県内の医療機関より報告される感染症発生情報や、当所で検出された病原体情報を収集・整理し、保健所等の関係機関へ情報提供するとともにホームページ上で公開しています。

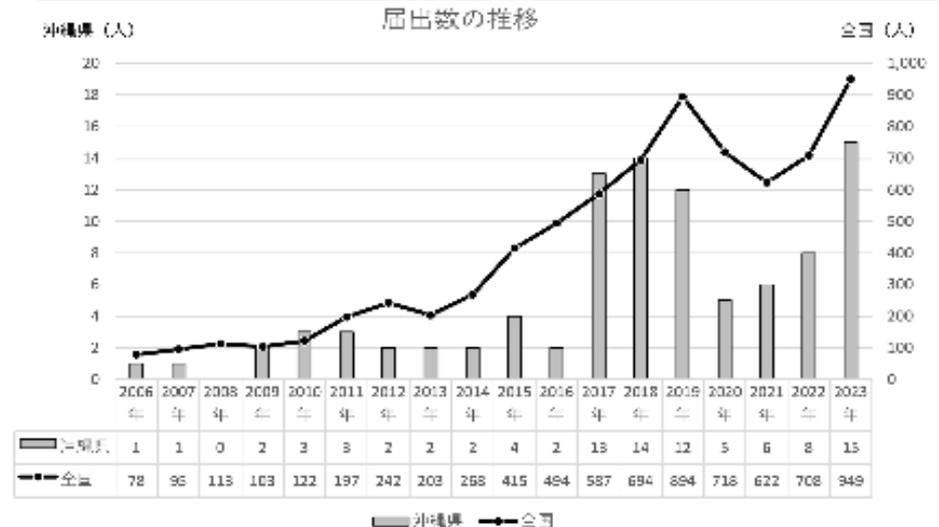
沖縄県感染症情報センター

(<https://www.pref.okinawa.jp/iryokenko/shippeikansensho/1005861/1006484.html>)

県内のインフルエンザの流行状況



県内の激少型溶血性連鎖球菌感染症の発生動向



動物愛護管理センター

(狂犬病予防業務)

- 狂犬病予防法違反犬の捕獲・収容
- 犬の登録及び狂犬病予防接種の啓発
- 咬傷犬の検診
- 狂犬病のモニタリング調査



収容動物の譲渡促進
(動物愛護管理業務)

収容



(動物愛護管理業務)

- 動物園やペットショップなど動物取扱業者への監視指導
- ハブ・ゾウなど特定動物を飼養している施設への監視指導
- 県民に対する動物愛護思想の普及啓発
- 収容犬猫の新しい飼い主への譲渡
- 犬猫等の飼い主に対する適正飼養の指導
- 負傷動物の収容、応急処置
- 死亡野鳥の高病原性鳥インフルエンザ調査

動物取扱業者 の監視



収容犬猫の不妊去勢手術



譲渡推進棟ハピア二おきなわ



動物愛護週間行事



本庁の業務

- 出先機関（食検、保健所、衛研、動愛センター）のとりまとめ
- 予算編成
- 議会対応
- 条例制定改廃 など

薬務生活衛生課

と畜場法、食鳥処理場法※₁、化製場法、
狂犬病予防法、食品衛生法、食品表示法

自然保護課

動物愛護管理法※₂、
鳥獣保護法※₃、
愛玩動物看護師法

感染症対策課

感染症法※₄
新型コロナ等特措法※₅





南の島へめんそ〜れ